

平成20年8月8日

貧酸素水塊速報 (2008年)

【発行】○ 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 【協力】○ 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 ○ 千葉灯標モニタリングポスト
 国立環境研究所
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成20年8月4日観測結果

貧酸素水塊は、内湾中央部及び南部神奈川寄りにシフトし、湾奥及び盤洲～富津地先の貧酸素化は解消していました。これは、8月2日から連吹する南西風により表層水が風下側へ吹き寄せられたためと思われます。縦断ラインでも湾奥は貧酸素化が解消しており、貧酸素水塊は中央部のごく海底付近にのみ認められました。このため、貧酸素水塊の規模は急減し5%台となりました。

赤潮は、内湾奥部にのみ見られました。

水温は表層25～30℃、底層19～28℃でした。

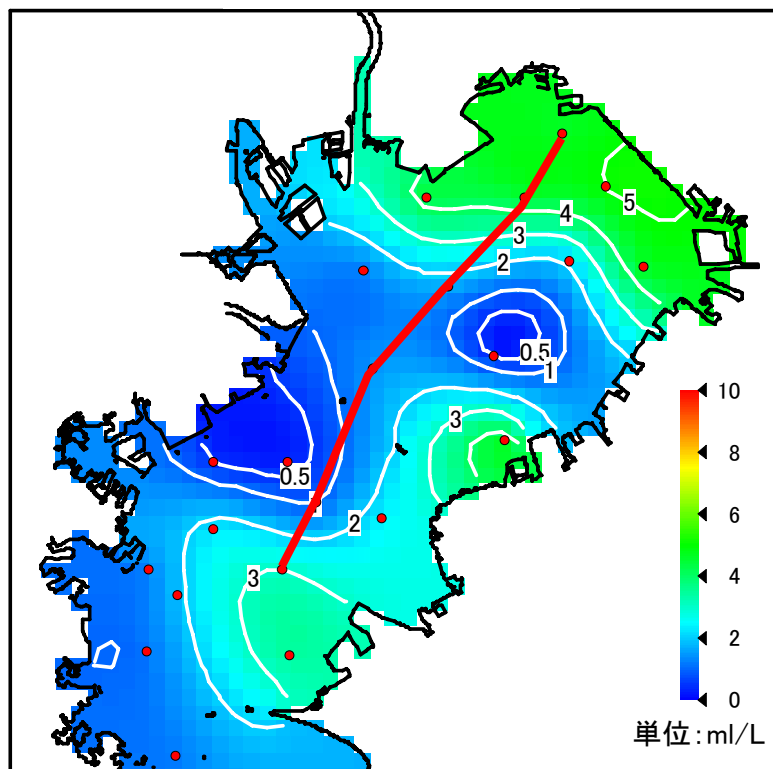


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

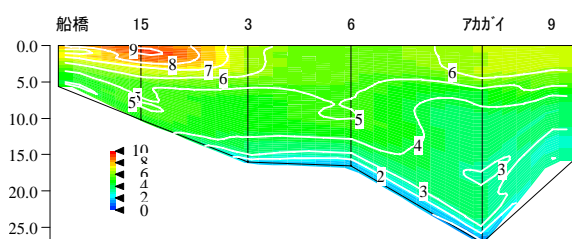


図2 縦断ライン(上図赤線)でのDO鉛直分布

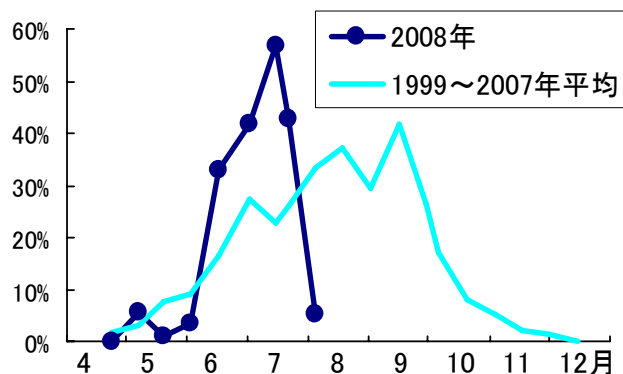


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)